

'17のべおか

第九

のべおか第九だより (第563号)

2017年11月12日 (日)

○発行 のべおか「第九」を歌う会

○事務局 (延岡総合文化センター内)

〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2

電話 (0982)22-1855

ホームページ <https://dai-9.info>

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。 ----

本日の内容	前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
○ A (237~330小節) p.9~18	◆ ソプラノ	47人	30人	63.8%	63.2点
○ B (411~654小節) p.21~35	♥ アルト	38人	30人	78.9%	70.4点
○ C (655~762小節) p.35~47	♣ テノール	11人	9人	81.9%	71.4点
○ D (795~920小節) p.50~63	♠ バス	23人	12人	52.2%	74.0点
12月16日まであと 34日	● 合計	119人	81人	68.1%	67.9点

♪大ホールで指揮者の指導、雰囲気は公演本番!?...



@ 「第九」 編

その付近の注意...●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意...○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♨バス

★...お話

(ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!)

★ 237 【お話し】 忘れた頃に(私の指揮の)「第九」がやってくる!?(笑)なんかいいですね。付かず離れず。初めての方というのはどれくらいいらっしゃる? (小学生)あ、こんばんは。凄いなあ(小学生)。頭、柔らかいから大丈夫です。…なんか私の指揮は大分と同時にやってるわけだから、3回目なんですよ。それで初回のときは(同じ年に)“こうもり”も。今でも凄い大切な思い出というか、あん時はどっぷり深みに浸かってましたからね(笑)。ほんとお世話になりました。うれしいです。再度お招きいただいて。…じゃ、さっそくやってみましょう。

● 238 【Freu-del!~】 男性の歌い始めは良かったです。

● 257 【Dei-ne Zau-ber~】 はい、素晴らしいです。いい歌ですよ。それでね、拝見してますと、かなりの方が体で拍をとってしまうんですよ。これ、音楽にとって邪魔です。まずその癖をなくすようにしましょう。かえってそうやって“よいしょ、よいしょ…”と取ると遅れていきます。その前からバリトンソロでテンポが決まっているわけですから、その流れをつかんでベルトコンベアーに乗ってスーツと“Dei-ne Zau-ber bin-den wie-der,…”と進んでいく、そんなイメージです。……ベルトコンベアーに乗ってという例が良いか悪いかはおいとして、それに乗って移動しているというイメージ(体で拍をとって歌わない)は伝わったと思います。

◇ 284 【Ja,】 バスの方は必ずコンタクトとって私といっしょに“Ja,”と出ましょう。ちょっと遅れますね!?

● 285 【wer auch nur~】 285小節以降はただスーツといくよりは少し力強さと、ちょっと引っかかり、“よいしょ”というのがあるといいと思います。

● 313 【Küs-se gab sie~】 3回目はついに。“Küs-se” “gab sie” “uns und ”“Re-ben,” 流れと思わないで1個1個区切る。もちろん停滞しちゃだめです。……ちょっと歌詞を喋ってみましょう。お腹から空気を送り出す。押し出すんですけど、“パツ”“パツ”“パツ”とはならない。短めではあるけど肉付きがもっと欲しい。音符をもうちょっと長めでもいいんじゃないでしょうか。しっかり地面と一体感を持って。……“…n…”はもっとこれみよがしに。僕もドイツオペラやる機会があるんですけど、実際ネイティブのドイツ人の言語指導を受けたことがありますけど、相当“…n…”っていきます!! 例えはあれだけど日本人は“うどん”、舌なんぞつかないですよ。今日「今日は昼、何食べようかあ?」「そうやねえ…うどんnnnnにしようかあ」(笑)とか言う人はいない。例えばドイツ人が“うどん”という外国語を知らなくても、この“うどん”というつづりを見たら“うどんnnnn”と信じれんほど“…n”を突き出すんです。でもそれが舞台語ですから必要なんです。日常の言葉じゃないです。ちょっとうどんの例えはどうかと思いますが、それでいって欲しいんですよ。“ei-nen”、“Freund,”、どんだけ“…n…”が多いか。これをどんだけ前に出せるかで型が決まります。それを強調して欲しいんです。なんならもう色変えて“…n…”のところはね印つけてもええぐらい…どんだけ多いか。

● 314 【uns und Re-ben,~】 最終的には特に重要な単語は意味をグーツと入れておいて欲しいんですけど、まずは形。“und”の“…d”を強調してください。“…d”と最後まで言わないと型にならない。ここが外国語の難しいところですね。「8割ぐらいで聞こえるんとちやいますか?」じゃないんですよ。型は100%やらんと型んならんわけですよ。これが厳しいとこです。でも是非をこまで意識を追求させてください。…ポイントを言っていくと“uns”の“…s”。“…n…”をちゃんと付けてそれでなおかつ“…s”を言わなきゃいけない。“Re-ben,”の“…n,”。まずは意味はともかく型をドイツ語らしく聴かせるということです。そのためには語尾の“…d”。(語中)“…n…”。これはいくら言っても強調してもしすぎることはない。それを癖にするぐらい。“…n…”は、“な”“に”“ぬ”“ね”“の”と日本語にもあります。そういうときの舌の共通の位置があります。(舌が上の)歯にはあたるかあたらないか、あたらないですよ。

- 315 【ei-nen Freund, ge-】 “Freund,”の“…d,”を強調してください。
- 316 【prüft im Tod; Wol-】 “ge-prüft”。難しいよね。こんな難しい言葉、ドイツ人云うてはるのに、舌かみそうになる!? でも言わんといかんわけです、“ge…”もはっきり言います。譜面の上にゴキブリ…“ゲツ”(笑)…これぐらい!!
……“…t”が弱いんです!? これが下が歯に付いちゃうと“…ツ”になっちゃう!? これまずいです。わざと“…ツ”。“…ツ”の舌の位置と“…トゥ”の舌の位置は似てるけど微妙に違いますよね。“…ツ”のほうがちょっと前に。“ge-prüft”の最後が“…ツ”になっちゃうとまずいんです。そんな単語はない!!
- 317 [-lust ward dem] “Wol-lust”の“…t”が聞こえなかった!?
- 320 【steht vor Gott,】 “steht”、リズムに乗かって“…t”。必ず“…t”を発音する。
- ★ 320 【お話し】 ちょっとずつ楽譜は見るんだけど、距離を離して言葉をとにかく前にぶつける。
- 321 【und der~】 “und”“der”“Che-”“rub”“steht”“vor”…毎回すきま開けますから。音符も大切ですけどすきま。すきまというのは小さな休符ですから。そこそが音楽、それによって皆がカッと集まる。……今、だいぶさっきよりはいいんだから。…たぶん前も言ったことあるんじゃないかな、一番分かりやすいのは羊羹かな。もしくは角がきっちりエッジが立ってるきれいにカンナがけした角材でもいい。ケーキがまるごと出てきたとき何人かで切り分けることありますよね、結構これ死活問題です(笑)。そんときに切り口がね、ある人の切り口がグシュとかなってたらすごい嫌でしょ。やっぱりピシッ、ピシッとなってなきゃいやじゃないですか。(結婚式で)新郎新婦さんケーキカットです2人はじめての共同作業です…グシュグシュ(笑)なんかもうあんもんねえ。なんか全部スパッと切り分ける!! 最後にエッジを効かせる、そのイメージをもっと強烈に持ってください。



- 325 【steht vor~】 ベートーベンをご存知のようにすごいパワフルで、言い方変えるとしつこいんです。ちょっと常人では考えられない。ベートーベンと絶対同じ屋根の下で暮らしたくない!? (笑)そういうタイプです。しつこくてパワフルで何回も同じことを繰り返す…例えば常人だと2回で済むところを3回繰り返す。“vor Gott,”“vor Gott,”“vor Gott,”です…いいですか。3回目は(“ウン”と勢いつけて)“vor Gott,”です。いいですよ、そんなぐらいやってください。それぐらいじゃ(床)壊れないですよ。神の名を3回言うんですから、3回目は普通じゃない。
- ★ 325 【お話し】 どういう手段を使ったっていいんです。ベートーベン、偉大な作曲家。クラシック、黒服着て蝶ネクタイしめてかしこまって、そんなねえ、そんなもんじゃございませぬ。これぐらいの天才的作品だったらね何やったっていいんです。逆に言うと音符だけ見てハイ音程そろえて、言葉…そんなのこの巨人的作品に対して失礼です、我々ちっぽけな凡人が立ち向かうためには全部駆使してください。使ってないとたくさんありますよ。内臓のどこか使ってないんじゃないですか!? 十二指腸とか胆嚢とか(笑)全部駆使してください。最終的には内臓、全部だしていいです(笑)。僕はそれぐらい、そうありた

いているんです。こんな偉大な作品を前にして格好つけてる場合じゃないです。大げさな話に聞こえるかもしれないけど、すべてをさらけ出してこの音楽に応えないと。それぐらいのものです。すましてたら出来ないです。是非是非心をひらいてこの作品に120%応えるようにしたいですね。

- 330 【Gott,】 …“vor Gott,.”。(歌いきって)命に別状、ないでしょ!? 本番もグッと準備して息を入れたら、もっと1分ぐらいいけると思う(笑)。それぐらいのつもりで。
- 411 【Lau-fet,】 十分用意なさって“L…”は溜めこめます。もっとダムが決壊寸前のような“L…”。オケはがんがんでますから“ウーL…”は全然聞こえない!!(笑)。
- 412 【Brü-der,】 “…r,.”がもうちょっと出るといいですね。
- 431 【-gen!〜】 “…n.”ホールに響きが行くように。私を見てくださるのはいいんですけど、今から癖をつけましょう。私のほうは見ないでください。あくまで正面です。そのまま声が指揮者に一点集中じゃなく平行に客席にバーツと。それで“…n.”。“g…”は“ガギグゲゴ”の“ゲ”。それで4分音符ですから、その長さで。……(もう一回歌って)…あぁいいですね。“freu-dig,.”なんか最高です。



- 543 【Freu-de,〜】 ここがまあ一番格好いいところです。一番気持ちがいい。これもずーっと溜め込んで“Freu-de, schö-ner…”。この前はなかなか把握しづらいオーケストラの間奏なのね。ホルンが“パパーン パパーン…”と4つあって、ほかの管楽器が“パーン パンパン…”と2小節溜め込むということでしょうか。……(通して歌って)声はよく出ています。でももっと言葉とともに出ます!! 私の理想はもっともっと高いところにあります。もっと出るはずですよ。そのためにいろいろやっていきましょう。
- 553 【feu-er-〜】 sfのマークが書いてありますね。それもメッセージの中に含まれていますからね。“火の出るような”。そのままです。あとね、いろんなところにsfが付いていますから。“Hei-lig-tum!”(557)、“Brü-der,.”(570)、“Brü-der,.”(586)、それも全部表現してください。それとみなさんの体の向きが中心に集まってきました!? いいです私なんか見ないで、まっすぐ客席を向いていただいて、でも指揮は絶対に視界に入るわけですから、どっか視界に入れておきます。客席まっすぐ!! 今からそれ、癖つけてください。
- 559 【Dei-ne】 必要最小限で確実な“D…”の発音。
- 561 【bin-den】 もっと破裂があります。…溜めがないな!? 前の人がオツとなるぐらい“b…”。
- 562 【wie-der,】 “w…”こっちは柔らかいです。下唇柔らかくして“w…”。“b…”とセットで覚えちゃってください。

- 565 【streng ge-】 “ge-teilt;”は“ゲッ_タイトル”にならないように。“ゲ_タイトル”。それでドイツ語の“ゲ…”というのは非常に強いです。我々はそんなにはっきり言いませんからね。言葉の頭にきても鼻に抜けてる鼻濁音ですからね。ドイツ語もそんな発音はあるんですけど少数です。基本的にハッキリ。“streng”の“…g”は鼻に抜けます。“ge-teilt;”の“g…”は言い直してください。
- 568 【Men-schen】 “M…”が足りない…!?
- 574 【weit;】 “weit;”が長すぎると“Dei-ne”が遅れます。2拍目に“…t;”を確実に入れてください。
- 602 【Welt!】 男性の最後の“…!t!”のタイミングは“We—e—e—!t!”です。それで息とって次へ…
- 603 【Seid um-】 女性の“Se…”イメージですけど、自分の響かすポイントが遠ければ遠いほどいいんです。例えば1mほど先。常にこちらへんで喋るイメージです。舞台語ですからね。日常は口元で喋ってる。(1m先)に最短距離で“Se…”と…ここはそうじゃない。あえて(後ろから回して頭上にカーブして)回り道。……まず自分の声の響きのポイントを決めてください。1mぐらい前。それで“S”をもうちょっと前にしておく。



- 609 【gan--zen~】 “全世界”これは“gan--zen”だけで単独ではないです。この前の定冠詞“der”とセットです。息は必ず“der”の前で吸ってください。それで息はちょっとしんどいけども“gan-zen”に行けます。……さらに手が頭の後ろから上にかけて出るようなイメージで。そうするとここでffに。ベートーベンはわかってるから“全世界の”“すべての”というところでff。
- 622 【zelt muß_~】 “muß_”が足りないです!?! sfが付いてますよね。あまねく人々が同時多発的に“muß_”(バス)、“muß_”(アルト・テノール)、“muß_”(ソプラノ)とね。これが素晴らしい効果。……“ein_lie--ber Va--ter_”、“一人の愛すべき神”が天上の世界にいらっしゃるに“(muß)違いない”。確信の“muß”。英語で言ったら“must”。もっと意識して“ムウス”ではなくて“ムオス”、客席に向けて。
- 626 【woh-nen.】 …今、半数が口を閉じている!?! “…n.”。違います!! (口を閉じない)。2分音符だけだったら“ヴォーネン”と歌うんですけど、ちょっと隙間開けて“ヴォ…ネン…”しっかりマルカートで。
- 631 【Ihr_ stürzt~】 …あえて言葉で説明しないです。全部(指揮をしているとき)どう歌うべきか出してます。見てればわかるように振ってます。見てくださればなんとかなります。楽譜見るよりはこっち見たほうがいいです。楽譜は全部ここ(顔)に書いてあります。
- 631 【Ihr_ stürzt】 ここはちょっと神に対して謙虚に。さらに言うと少し畏れを。それを皆で共有しましょう。
- 646 【woh-nen.】 “…n.”。口をつむらない。ここがこの曲の中でも最も激しいし宗教的な熱狂が頂点です。音は変わりません。(643小節から)ずっと一緒。今覚えてください。

◆ 655 【Freu-de, schö-ner〜】 ちょっと1拍1拍が短いかな!? (レガートで)なめらかに歌ってみましょう。先ほどまでの(言葉悪いけど)狂気じみた極限の世界からもっと光に満ちた世界。

● 655 【〜】 今、ソプラノに言った“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken,”と逆にもう1個要素がありますね。“Seid_ um-schlun-gen, Mil-li-o-nen! …”は1個1個、角を立ててやってみましょう。……付点2分音符が続くところ、だんだんへこたれてくるのが気になりました。ずーっと頑張って“Seid_ um-schlun-gen, Mil-li-o-nen! …”。言葉を1個1個立てて緩まないように。

◆ 720 【〜】 ソプラノは素晴らしいですよ。

♥ 720 【Freu-de, schö-ner〜】 ここ、アルトは大変ですよ。到底この音域で聴かせるのは難しいんですけど、ここはどうぞ口を動かすことを惜まずに、言葉で攻めましょう。それしかない。それによって存在感をアピールしてください。……なるべく早めに覚えてしまいましょう。楽譜を見ている場合ではありません。



● 730 【Ihr stürzt〜】 ここからテンポ、“ポンポンポン ポンポンポン”と自分で手を叩きながら出来ればしめたもんです。今は残念ながら甘いんですよ。ここは全国どこいってもプロアマ問わず課題となっています。今から私が歌の部分だけ強調して手を打ってみます。みなさんはこれに乗かって歌詞を喋ってみてください…我慢して“Ihr _ _ _ stürzt nie _ _ _ der, Mil _ _ _ li- o _ _ _ nen?”というのひとつアプローチとして重要なんですけれども、それは最終的にはあんまり良くないです。ギュッと閉めちゃう!? それよりは止まらないで。最初にやったベルトコンベアのように、ここは休符があるんですけどね、響きはずっとあると思うんです。こっちのほうがいいかもしれません。僕は手を叩いていますけど、皆さんは何かに乗かって移動しているような感じ。それも動きながらたたくんです。

● 745 【zelt! Brü〜】 あんまり硬く“Brü…”じゃない!? この前まではすごく緊張感、一点を見つめてなにか縛られているような感じでした。それが頂点に達したら緩めてください。横に広がるように。それで仲間がいたというイメージでしょうかね。もっと懐に身をまかせる…。

★ 745 【お話し】 もう忘れちゃったけど、なんか昔、おかあちゃんのね(甘えていたような)、今やったら(笑)。なんかそういう柔らかくて暖かいものに包まれる、そんなイメージ。ここはやっぱり音楽的には一番強烈ですね。宗教的な熱狂、ひとつの神を信じるということからの変化が素晴らしいと思う。…ここ、なんか“おかあちゃん”とか書いといていいです(笑)。そんな顔をして歌ってください。ベートーベンは何しても大丈夫。それぐらいは受け皿がありますから。

○ 753 【zelt muß_】 “muß_”これがいいんですよ。とっても素敵でしょ。ちょっとだけだけど、顔から全部つくる。舞台上立つ歌手のような方はこれぐらい作るわけです。そうしないと観客に全然通じない。直立不動で構えて音程合ってるリズムいい…全然人の心は動かない!? ……あとは現実な話、どうしても私たち日本人は“…ウ…”が浅い!? 広く深く!!

○ 758 【ein_】 これはいわゆる不定冠詞であって、英語で言ったら“a”というやつです。我々には概念がないんです“ひとつの”。でも凄い大切なんですよ。我々は八百万の神だけど、彼らはやっぱりひとりなんです。 “ein”ひとりじゃないとだめなんですよ。…ここでできる人は指、立てて。それでそのまま客席の奥のほうに。自分の響きがそっこのほうに、そういうイメージを。そしたらさらに良くなります。

○ 762 【-nen.】 “…n.”で終わるのはほんとに多いですね。これを口をつむってしまわないように徹底してください。

……“…n.”の響き、残ってる?? 最後まで響きを作ったやつを見届ける。

★ 762 【お話し】 みなさんすごく柔らかい、いい表情になりました。実際、声楽的にいうと難しい曲なんです。テナーパートなんて気がくるってるとしか思えないです。アルトも下のほうは人間の歌ではないですよ(笑)。当時は歌えたのかね?? ソプラノは“アー”って高い(笑)。そんな簡単にできる曲じゃない。はっきり言って人知を超えたところにある。だけどなかなか技術的に追いつけないところがあったって今みたいにイメージ豊かにして、いい意味で演じていく、それができるとほんとにベートーベンの世界に近づけるんじゃないかなと思ってます。

○ 810 【Men-schen wer-den】 “Men-…”になったら、すぐにdim..今の皆さんは“…schen”で小さくなってらんだけど、“Men-…”に“>”がありますよね。

○ 832 【Men-schen!】 “…schen!”は短めにしてソロのほうに譲ってあげましょう。スッと引いてください。

★ 920 【お話し】 最後はガーッと通しただけになりましたけど、また次回。今度は後半からやればいかな。

◆ 声を出せるようがんばります。
◆ 今日はステージでやってすごかったです。(みーやん)
◆ 部活がやっと落ち着いたのでやっとなってきました。久しぶりの第九、楽しかったです。
◆ 学校行事などでなかなか練習に参加できなくて、今日が初めてのれんしゅう。本番までがんばろう!!(ハンバーグは主食)
◆ ちゃんと覚えます。
◆ あっという間でした。楽しかったです。
◆ 指揮者の先生のご指導の日なので絶対休んではいけないと(疲れてしまいましたが)参加しました。森口先生の指導は初めてでしたが楽しかったです。3回目に大きくなるところで足ぶみするというご指導は初めてでしたが本当に出るものですね
◆ 近眼の老眼です。メガネをかけるべきかメガネを作り直すかなや

むところ。合唱の方はとてもむずかしいです。
◆ 初の森口先生、楽しいです。
◆ チケット頑張ろう。客席を満杯にしよう。(セ口弾きのゴーシュ)
◆ 今日は森口先生のご指導、ありがとうございます。色々と新たに覚える事がたくさんあり、本当にむずかしいです。
◆ 昨日はMozartの「Requiem」に多数鑑賞いただいて、ありがとうございました。これからも合唱曲に情熱をかけて練習していきますので、よろしくお願いたします。(m♪)
◆ きのうのレクイエム、素晴らしかったですね。この調子で第九も頑張らしましょう。森口先生、前回よりお若く感じました。(ブンちゃん)
◆ 部活が落ち着いたので久しぶりに来ました。

◆ 久しぶりでしたが、気合が入りました。Dが難しいです。よろしくお願います。
◆ 先生のご指導あり、本番が近いんだなアーと感じます。あれから40年、ステージに上がるのは久しぶり。本番まで元気に過ごせる様、頑張ります。先生のご指導に感謝しました。
◆ 森口先生のひさしぶりの指導を受けてとても素晴らしかったです。次回、楽しみにしています。(M.Yoshimoto)
◆ 森口先生のパワーがとてつもなかったです。すごかったです。まだまだついていけないので練習頑張ります。
♥ 久々の森口先生、勉強になりました。むずかしいですが、近づけるよう歌います。(8年生)
♥ お久しぶりの森口先生、前回の先生の印象も深く残っていましたが、3年ぶりの先生のエネルギー

シュなご指導に身も心も若ぶり(笑) 楽しく歌いました。本番が楽しみです。さすが32年目の「第九」と云っていただけるように。…追記：気になること。先生のご指導の時でも注意事項などを隣の人とかとヒソヒソおしゃべりする人が多いのにビックリです。先生の言葉を自分でしっかり受け止めてください。他のパートの注意の時もです。舞台上で練習中のおしゃべりはやめましょう。(イマ カン)

♥すばらしい指揮。ありがとうございました。

♥たいへんおもしろかったです。

♥久しぶりに歌えて楽しかったです。本番に向けて頑張りたいと思います。

♥疲れたけど充実した時間でした

♥久しぶりの森口先生の練習のもと頑張るぞ〜!

♥久しぶりの先生の指導、楽しく勉強になりました。発音は難しいです。

♥脇腹痛くなるほど頑張りました! ついつい森口先生に乗せられるんでしょうね。

♥いつもより声が出て勢いがあるように思いました。言葉一つ一つを大げさに言うのは体力を使っただけで大変でした。

♥森口先生の指導は、とてもわかりやすかったです。

♥久しぶりの第九でした♪ ベートーヴェンの凄さを改めて実感しました。最後まで頑張りたいと思います。

♥とても勉強になりました。

♥すごし集中してできました。緊張〜!

♥大好きな森口先生の指導、楽しい関西弁ののりで思いの以上の声を出せて気持ち良かったです。

♥29日の練習は熱を出してやすみました。大事な時の練習なのでみません。今日の森口先生の指導がすごくパワーがあり分かりやすかったです。忘れない様に歌いたいです。

♥森口先生の久しぶりの指導、前に言われた事はしっかりメモしていました。発音しっかり気をつけて歌いたいと思います(ヨッチン)

♥森口先生のご指導、本当に体力の限りをつくして声を出す事を教えて頂いて有難いです! 歌える事に感謝です。(うたむし)



♣今宵もまたのどの調子は絶好調です。今日こそ倒れるつもりで歌うのです。ところが歌うといつも通りのわかりきったいつものためだめぶりです。このアンバランスをなんとか解消したいです。第九の道は…ただ今、登山道にあります。間に合いますかしら。次こそはうどまかしてみようと思えます。…おそろくうどまかされてると思います。よろしくお願ひします。

♣発音の難しいこと。今年の森口先生は厳しい。(T.Kawa)

♣森口先生のユーモア溢れるご指導を具体的な表現技術についてのご指摘は、とてもよく分かりました。ありがとうございました。(す)

♣エッジをきかせたり、音を溜めて歌ったり、おかあちゃんと歌ったりと森口先生の指導はおもしろくかつ深い。うまくは歌えないけどベートーベンへ挑戦します。歌手になったつもりで。疲れました。Roll Over Beethoven!

♣個人的には少し形になってきました。暗譜をしっかり頑張ろう!

♣「タメ」「ハレツのト」「うどんのN」いつもの練習でNは意識していたけど、もっとハッキリした

Nの響きを残し伝えるんだとまたポイントを入れました。頑張ろうっと。(マツチャン)

♣みなさん、いい声で歌ってました。さらに上を目指しましょう!(KC)

♠全然思うように歌えませんでした。頑張ります!

♠さすが森口先生の指導はすばらしい。声がよく出て気持ちよかったです。(ソルトビーチ)

♠初めての舞台練習でしたが他のパートにつられてしまいました。譜面をある程度暗譜が必要かと思いました。次回も頑張ります。

♠久しぶりの森口先生の指導。一本、芯が通った。(TAKACHU)

♠森口先生のご指導、素晴らしかったです。(KY)

♠つかれました。きのうの演奏会の影響か?

●編集後記

今回は**11月26日(日)18:30~21:00**

前回の森口先生の指導はいかがでしたか? 歌詞を理解してそれに応じた感情を乗せると、表現の幅が広がるのはわかっていますが、歌はどんどん進んで…油断すると終わってしまっ…来年まで歌えない!?

そうならないために残りの期間をしっかりと取り組んで本番に備えましょう。【munenori@horita.jp】